

# 授業におけるICT活用

教科領域等の目標を達成にするために、教員や児童生徒がICTを活用すること

ICT活用は、「学力向上につながる」と重要で、「教育効果が期待できる指導方法」である。

ICT活用の効果をあげるために、ICT活用を教員の指導力向上に組み込む。

つまり、

## ○これまでの学習指導

- ・教材・教具の創意工夫
- ・児童生徒の実態把握
- ・机間指導や板書を活用した授業展開
- ・教員と児童生徒との双方向性の確立



## ○ICTの活用

- ・映像等のタイミングのよい拡大表示
- ・指導のねらいや児童生徒の実態に応じた素材、教具の選定
- ・映像を指し示しながらの発問、指示、説明

**ICTを活用した  
わかりやすい授業  
づくり**

につながる

## 5W1Hを意識する

・Who	・When	・Why	・Where	・What	・How
使用者	場面	目的	場所、形態	見せるもの	工夫

## 授業における活用例

### ～ 導入時 ～

#### ○フラッシュ型教材の活用

- ・既習事項の確認のために利用
- ・同じ教材でも変化を持たせ、要求の質を高めていく

(例)日本全体地図の中で都道府県を答える

→ ひとつの都道府県の形だけを見て答える

→ 文字情報だけで答える

(例)「r」や「l」の入った英単語を読ませる

→ 「r」や「l」の発音を意識させて読ませる

→ テンポ良く、ほめながら

#### ○実物投影機の活用

- ・本時の内容、目標を拡大提示する
- ・児童生徒と同じ教材を使い、分かりやすくする

### ～ 展開時 ～

#### ○実物投影機の活用

- ・児童生徒の書いたノートを拡大提示する
- ・授業で使用しているものをすぐに拡大提示する

#### ○タブレット機器の活用

- ・グループごとに機器を囲んで話し合う
- ・複数の意見をまとめる際に利用する
- ・意見・考えを発表するときに活用する
- ・映像、画像等を利用する

#### ○インターネットの活用

- ・情報収集を即座に行える
- ・物事を調べるときに活用する
- ・他の地域の人達と、意見交流することができる

### ～ まとめ ～

#### ○電子黒板の活用

- ・まとめを用意しておき、タイミングよく大きく提示する
- ・授業の状況によって、書き込むことができる
- ・保存しておけば、次時では、導入時に活用できる

#### ○作成したプリント・教材を使用

- ・パソコンで作成したプリント類を提示する  
(実物投影機でも、電子黒板でも可)
- ・作成した教材を大きく提示する

#### ○表計算ソフトやドリルソフト等を活用

- ・学習したことを表や図を使ってまとめる
- ・児童生徒が個々でドリルに取り組む

**興味・関心を高める  
課題把握に役立つ**

**思考や理解を深める  
比較・分析・整理**

**知識の定着を図る  
発展へのつながり**

## 日常的にICTを活用した指導を行うために

### ○実物投影機を使った模擬授業を行ってみる

- ・2～3人で、教科ごとのグループをつくる
- ・授業のどの場面で、何を提示するかを各自考える
- ・グループ内で、簡単に発表する
- ・代表者を決め、模擬授業(10分程度)を行う

### ○教員同士で研修会を開く

- ・2～3人のグループで1つのフラッシュ型教材をつくる
- ・決まったものを他のグループで実践する
- ・「25分を週1回」より「5分を毎日」の意識で実践する
- ・授業をお互いに公開し、批評し合う